

1. 件名：電源開発株式会社大間原子力発電所の地震等に係る新規規制基準適合性  
審査に関する面談

2. 日時：令和4年2月16日（水）13時30分～13時50分

3. 場所：原子力規制庁（テレビ会議システムにより実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 市村原子力規制部長

地震・津波審査部門 岩田安全管理調査官

電源開発株式会社 杉山取締役副社長執行役員、他1名

5. 議事要旨

（1）電源開発株式会社から、現在申請中の大間原子力発電所の新規制基準適合に係る設置変更許可申請の審査について、審査会合及びヒアリングの頻度を増やして欲しいこと、敷地内の地質・地質構造に関するシームの評価にあたっての現地調査には、トレンチの整備が必要なことから実施時期を含め予見性をもって進めさせて欲しいことについて要望があった。

（2）原子力規制庁から、申し越しの件については申請者の要望として受け止めることを伝えつつ、審査会合等については単に回数を増やせば審査が進捗するわけではなく、十分整理した資料の準備によって、より適切かつ効率的に議論ができるといった側面があること、また、審査する側として引き続き適切な業務運営に努めるが、審査に従事している双方の現場対応者間での認識共有が重要であるので、申請者においてもしっかり対応して欲しい旨伝えた。

6. 提出資料

なし